

## 組立・施工・取扱説明書

お客様保管用

## モクプラボード 共通

このたびは、当社商品をご採用いただきまして、誠にありがとうございます。この商品を安全に正しく施工していただくため、この「組立・施工・取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。

## 安全のために必ずお守りください

ここに示した注意事項は安全に関する最も重要な内容です。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解して本文をお読みください。また、本説明書および当社カタログに記載されている内容に反する施工やご使用をされた場合、保証対象外となります。

## 安全記号



## 警告

- 取り扱いを誤った場合、使用者が死亡もしくは重傷を負う可能性がある危険度が「高い」内容を示しています。



## 注意

- 取り扱いを誤った場合、使用者が中、軽傷を負う可能性がある内容、または物的損害の可能性があり危険度が「中、軽い」内容を示しています。

## 一般記号



## ポイント

- 組み立て、施工手順で、特に注意して作業を進める必要がある内容を示しています。
- 注意して守っていただかないと、組み立て、施工が困難、あるいは強度不足のため、施工後不具合が発生する可能性がある内容を示しています。

## 組立・施工上のご注意

## 警告

- 風の強い場所、積雪の多い地域や地盤の弱い場所での施工には、控え柱等の補強が必要です。特に柱の固定を確実に行ってください。転倒など事故の原因となります。
- 屋上やがけの上など、商品が落下した場合にケガをする可能性のある高所には設置しないでください。
- お子様が踏み台として使用し、転落事故につながる場所への設置は絶対にしてしないでください。
- 取扱説明書に表示している基礎部の埋め込み深さは一般的な場合です。現場の地盤状態に合った基礎部の寸法(体積)にて施工し、安全を確保してください。
- 施工時、コンクリート(またはモルタル)には、塩分を含む砂(海砂)や、コンクリート用湿和剤(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など)で塩素系や強アルカリ系のものは、絶対使用しないでください。使用すると、金属部分が腐食し、破損、倒壊の可能性があり危険です。

## 注意

- 組み立て、施工場所の整理整頓、適切な安全確保を行ってください。高所作業での転落、工具、部品の落下や倒壊の防止、暗所作業時の照度の確保などを必ず行ってください。
- 工具、器具、保護具(作業服、保護帽、安全靴、安全帯、その他作業者身体の保護具)などは、安全機能を十分に確認し、正しく使用してください。また不具合のあるものは使用しないでください。
- 必ず取扱説明書に従って正しく施工してください。正しい順序で施工されなかった場合には、商品の強度など性能が低下するほか、倒壊につながる場合があります。
- 梱包明細表で必要な部材、部品がすべて揃っているか確かめてから、組み立ててください。
- 壁、ブロック塀、ベランダ等に取り付ける場合、当該構造物(建物)の強度については、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- 設置場所に正しく施工でき、不具合なく使用することができることを確認してください。
- 給湯、暖房機などの熱排気が商品で妨げられ建物内部にこもったり、適切な換気ができなくなるような場所には設置しないでください。
- 通路など、通行の妨げになる場所には設置しないでください。
- 給排水管などの地下埋設物に影響を与えないか位置を確認してから施工してください。
- 防犯上、不審者が踏み台として使用し、侵入が容易になるような場所には設置しないでください。
- 水はけの悪いと思われる場所には設置しないでください。
- 常に水や温水に触れたり水没する場所、また温泉やそれに類する水質に触れたり水没したりする場所には設置しないでください。
- 給湯、暖房機などの排気熱が直接商品に当たると被膜の劣化、はく離につながります。熱の影響のない場所に設置してください。
- アルミ製品は、鉄や銅など(ステンレス以外)の異種金属と直接接触すると、腐食する可能性があります。接触する場合は、ビニールテープを巻くか塗料を塗るなどの処理を行ってください。
- 腐食成分(塩素イオンなど)を多く含んでいる輸入木材の併用は避けてください。もし使用される場合は、必ずアルミと接触する部分の木材に塗装するなどの処理を行ってください。
- 商品が腐食する可能性のある接着剤や溶剤などの化学薬品に、接することがないように注意してください。
- 組み立て、施工時は、商品にキズがつかないように十分注意してください。
- 基礎は安全のため必要な強度を十分確保してください。
- 土地の高低にかかわらず、柱の埋め込み深さを十分確保してください。
- 組み立て、施工用のボルト、ビスは規定本数(当社指定純正品)を確実に締め付け、固定してください。
- 商品にバリがある場合は取り除いてください。特に切り詰めなど現場加工の場合は必ず行ってください。
- 組み立て、施工時に、雨水がたまらないように十分注意してください。
- 柱の水抜き穴は、モルタルなどで塞がないでください。
- 商品に雨水がたまらないように、適切な位置に水抜き穴をあけることをおすすめします。
- 組み立て、施工終了後は、施工時の汚れをきれいに取り除いてください。

## 組立・施工上のご注意

### ⚠ 注意

- 組み立て、施工時、商品にコンクリート(またはモルタル)の抽出液が付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性のため、施工後シミ、ムラなどが発生し、外観不良の原因になります。付着した場合は、速やかに水を含ませた布などでふき取ってください。
- コンクリートは製品に記載されている配合率や注意事項に従って使用してください。養生期間(4~7日)は十分に確保し、養生期間中は重量物をのせたり、振動させたり、物を立てかけたりしないでください。
- 組み立て、施工終了後は、必ず商品が正しく組み立てられているか確認してください。特にボルト、ビスなどにゆるみがないか確認してください。
- 構造物、建築物の屋根などからの雪の落下を受けない位置に設置してください。
- 積雪のある地域では、雪により商品が倒壊しても危険がない場所に設置してください。
- 凍上する可能性のある寒冷地に設置する場合は、必ず凍上線の下まで基礎部を確保するように施工してください。
- 寒冷地でご使用になる場合は、柱に水抜き穴をあけて、柱用の穴に柱を立ててから、モルタルを入れてください。モルタルを入れてから柱を立てると、柱の内部に水がたまり、凍結破損の原因になることがあります。
- 商品の改造は絶対に行わないでください。商品の性能が落ち、強度不足による破損、倒壊の可能性があり危険です。
- 誤った使用を避けるため、組み立て、施工終了後、必ず取扱説明書はお施主様にお渡しして、取り扱いの注意、メンテナンスについて説明してください。

## 使用上のご注意

### ⚠ 警告

- アルミ製品は、高温になる場所では他の金属材料に比べて熱による変形が生じやすい材料です。商品の近くで火気を使用しないでください。
- フェンス、スクリーン等は、隣地境界を目的に設置するものです。防護柵や手すりなどとしては使用しないでください。
- 運動具やお子様の遊具、踏み台、ふとんや洗濯物を干す等、目的以外の使用は絶対に行わないでください。
- 局部的に重い物をのせたり、立てかけたり、ぶらさげたりしないでください。ボールなど投げつけたりしないでください。

### ⚠ 注意

- 商品の一点をハンマーで叩いたり、ハシゴをかけるなどして強い衝撃、荷重を与えると破損、倒壊事故の原因になります。絶対に行わないでください。
- 無理な荷重をかけないでください。商品の上で飛んだり、跳ねたりしないでください。ぶらさがったり、寄りかかったりしないでください。
- 商品の付近で農薬や殺虫剤などの薬剤を使用する場合は、表面に付着しないようにしてください。表面が変色する恐れがあります。
- 安全性の高い材料を使用しておりますが健康を害する恐れがありますので、小さなお子様やペットがなめたり、かじったりしないように注意してください。
- 商品の切り口に切断時のバリが残っている場合や、現場加工にともないささくれが発生する場合があります。手などにケガをしないように、取り扱いには十分注意してください。発見した場合は放置せず、施工店様に連絡してください。
- 商品を改造したり、穴をあけたり、当社オプション品、付属品以外の取り付けは避けてください。商品の性能が低下する可能性があり危険です。
- アルミ製品の表面にキズが付いたり、塗装はがれが生じると、商品の腐食や強度低下の原因になりますので、取り扱いには十分注意してください。
- 積雪のある地域では、必要に応じて早期に除雪してください。
- 安全のため、定期的に接合部のボルト、ナット、ビス等にゆるみがないか確認して使用してください。ゆるみがあれば締め直しを行ってください。お施主様でできない場合は施工店様に依頼し必ず直してください。
- 商品が破損したり、グラつく場合は、すぐに施工店様に連絡してください。破損したままで使用していると事故の原因となり危険です。

## メンテナンスのご注意

### ◆汚れの程度と掃除方法

内容	用具	方法
軽い汚れの場合	柔らかい布 スポンジ 水	柔らかい布、スポンジで水ぶきした後、からぶきしてください。
ひどい汚れの場合	柔らかい布 中性洗剤	中性洗剤を薄めた液で汚れを落とし、洗剤が残らないように水洗いしてください。その後、からぶきしてください。

### ◆お手入れのご注意

- お手入れには布やスポンジなどの柔らかいものを使用してください。
- 金属ブラシ、金ペラ、スチールウール、目のあらい紙ヤスリなどは使用しないでください。
- 小石、砂などが付着したままこすると、アルミ表面にキズが付きます。あらかじめ取り除いてください。
- アルコール、ベンジン、アセトンなどの有機溶剤や石油類などは使用しないでください。
- 小さなキズでも早めに補修されることをおすすめします。水に濡れたときはからぶきしてください。
- 安全のため、定期的にガタツキがないか確認してご使用ください。
- 工業地帯や海岸の近くなどでは、状況によりお手入れの回数を増やしてください。
- 定期的なお手入れにより、商品をいつまでも美しく保つことができます。

### ●お手入れ回数の目安

海岸地帯	工業地帯	市街地	田園地帯
年1~4回	年1~3回	年0.5~2回	年0.5~1回

## 廃棄について

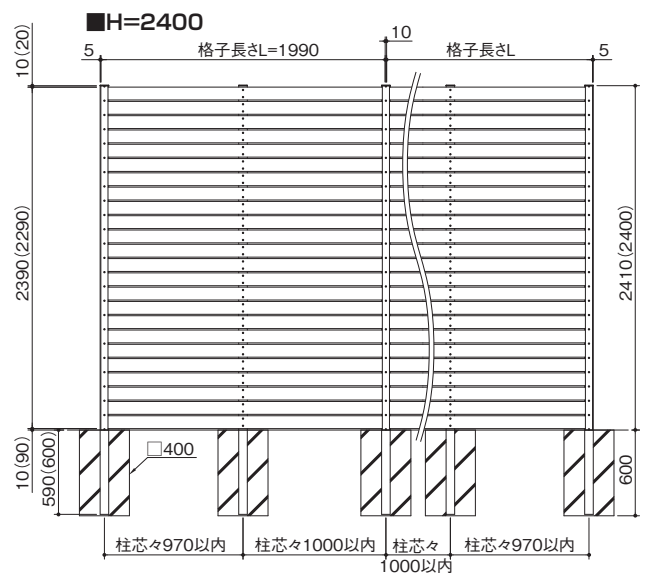
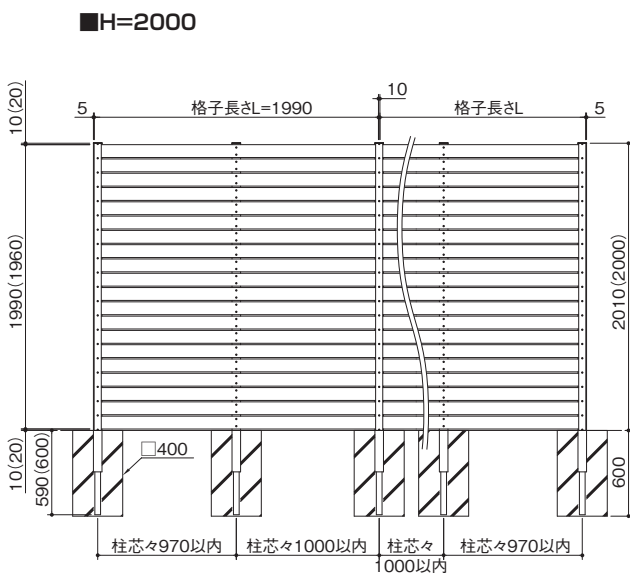
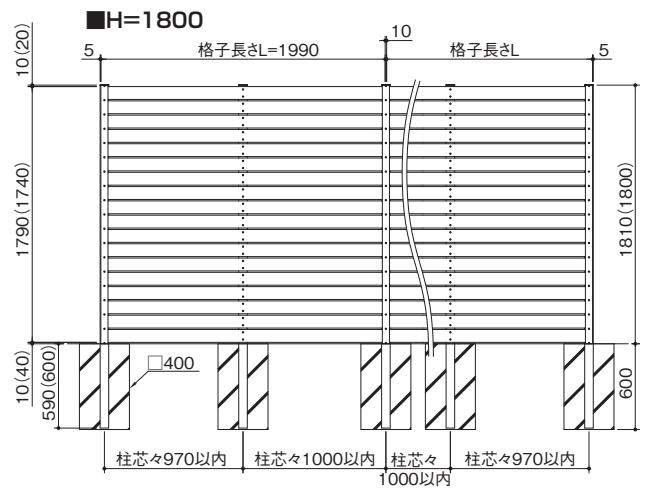
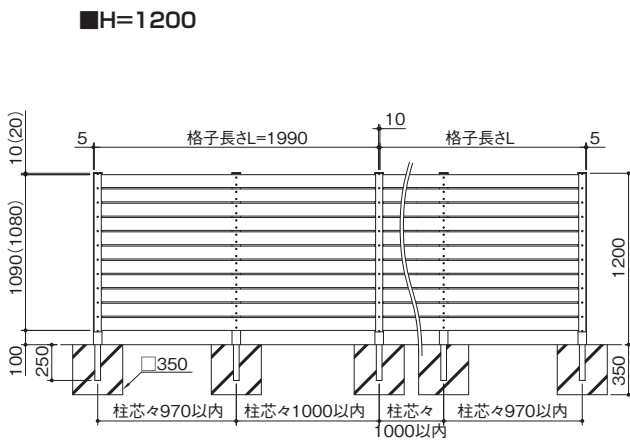
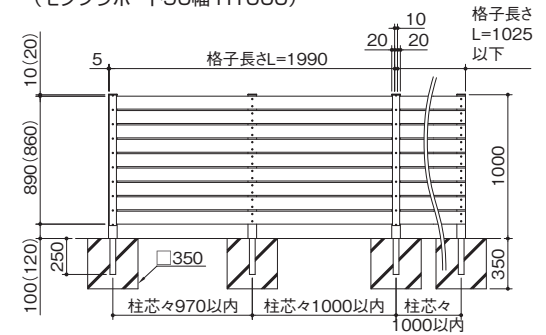
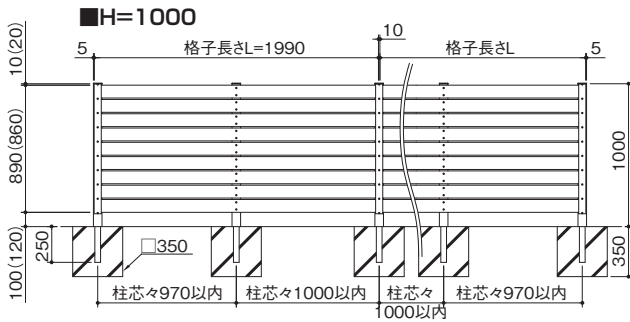
ご不要になった商品、また現場で発生しました残材等につきましては、各地域の条例等に従って正しく処分してください。

# 納まり図

●当図は、すき間10mmの納まりを示す  
 ※( )内の寸法は、すき間20mmの納まりを示す

## ▼モクプラボード 90mm幅

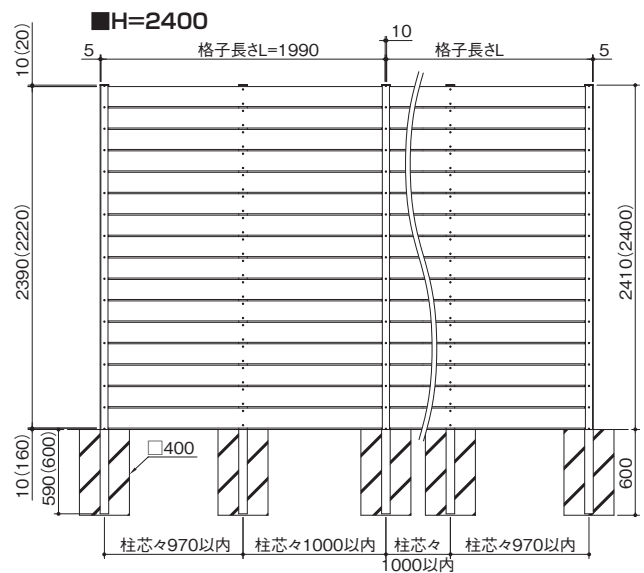
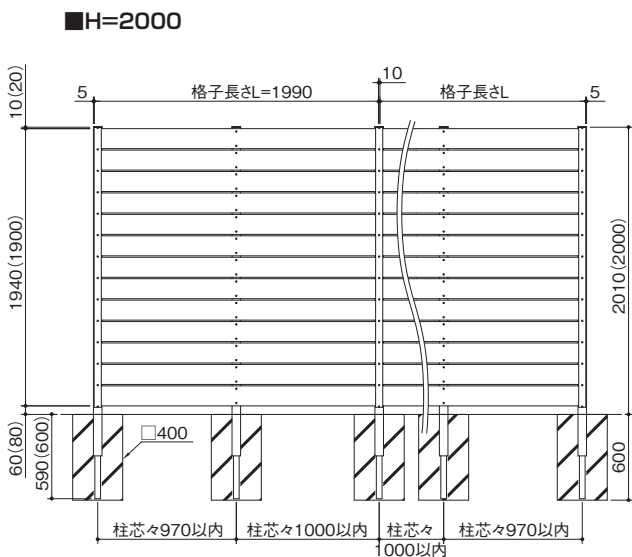
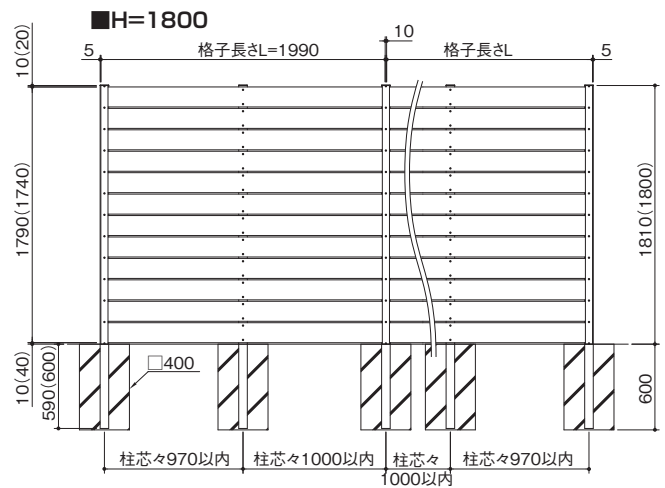
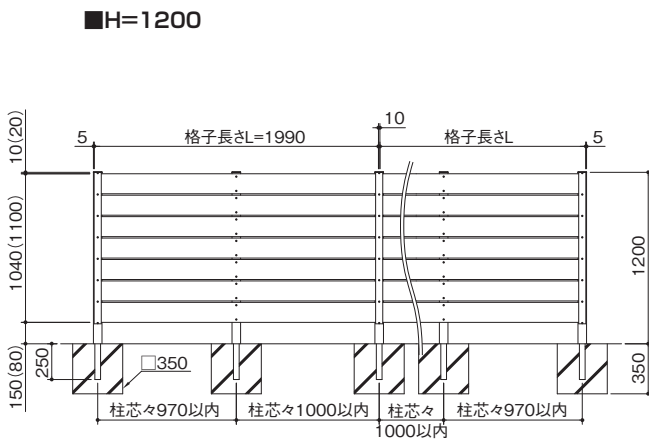
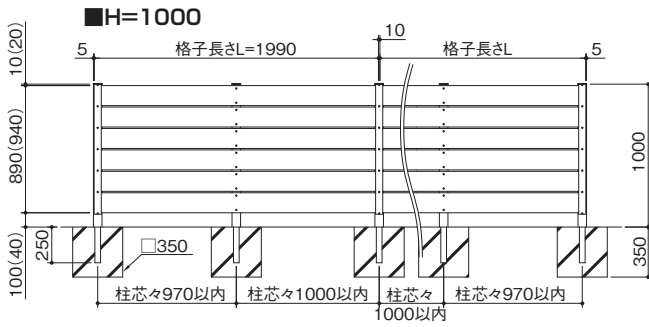
▼参考例  
 端部のスパンが柱ピッチ1000mm以下の場合  
 (モクプラボード90幅 H1000)



# 納まり図

●当図は、すき間10mmの納まりを示す  
 ※( )内の寸法は、すき間20mmの納まりを示す

## ▼モクプラボード 140mm幅

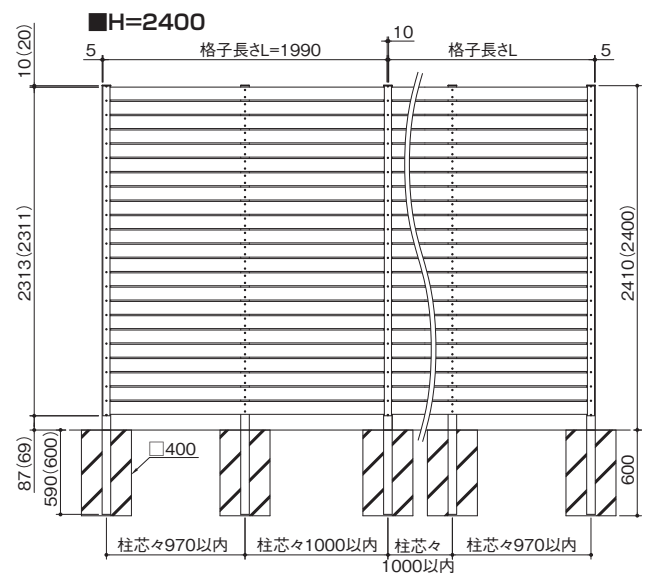
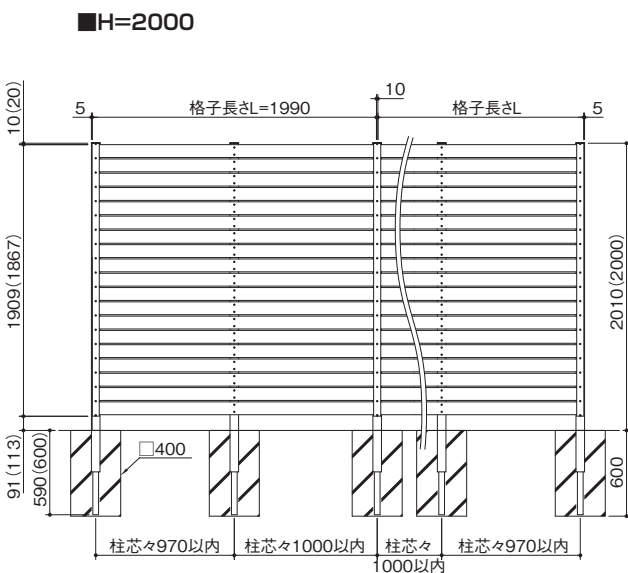
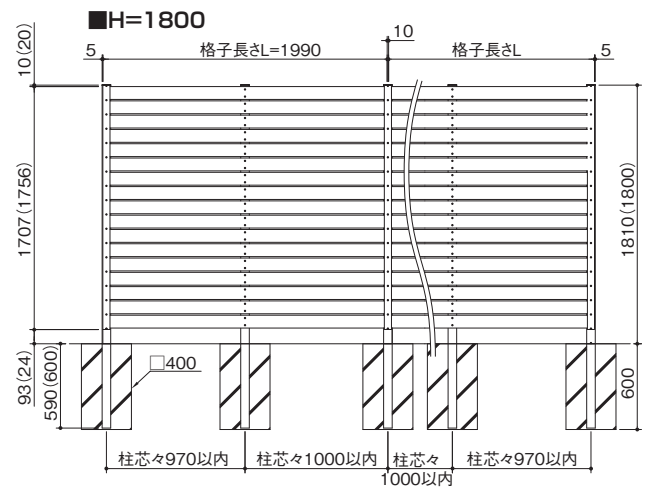
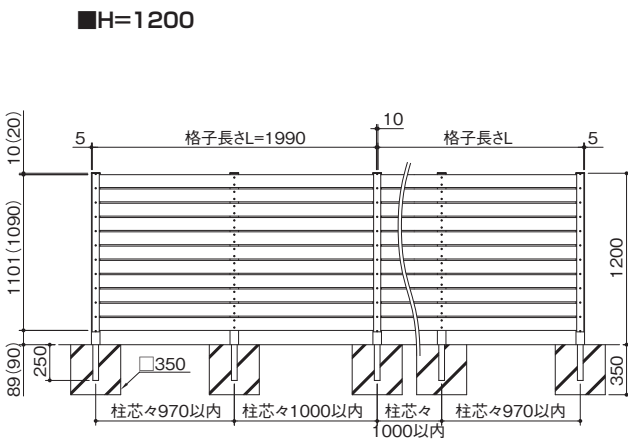
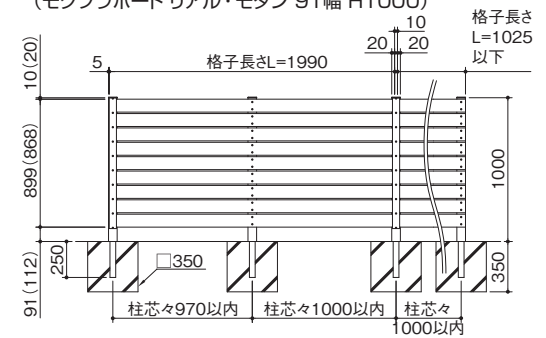
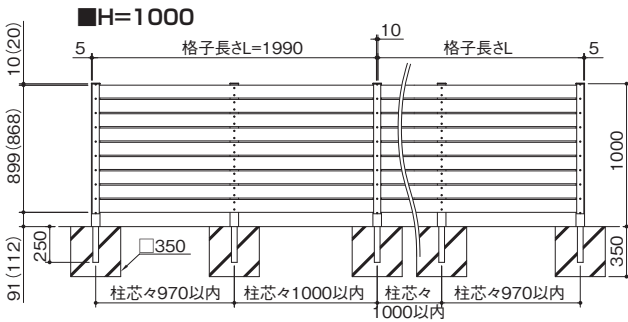


# 納まり図

●当図は、すき間10mmの納まりを示す  
 ※( )内の寸法は、すき間20mmの納まりを示す

## ▼モクプラボード リアル・モダン 91mm幅

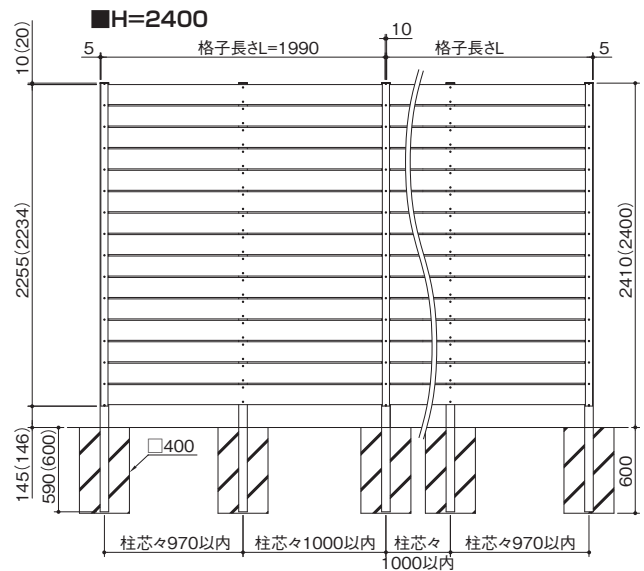
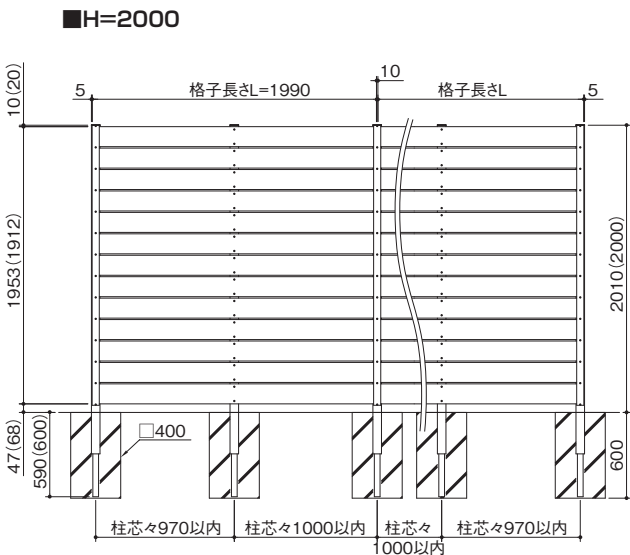
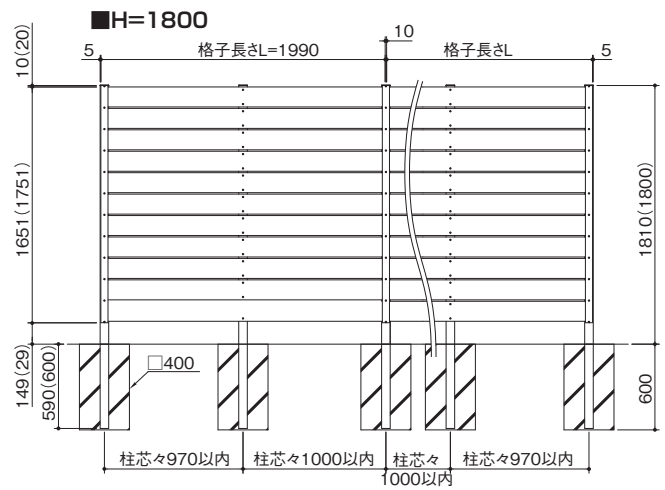
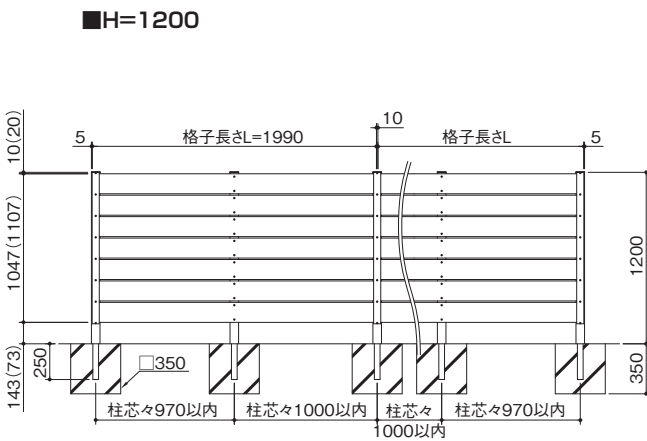
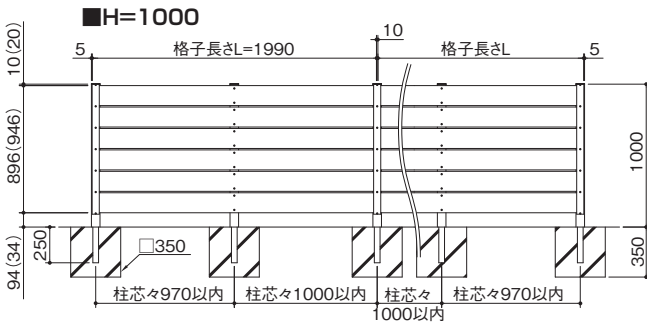
▼参考例  
 端部のスパンが柱ピッチ1000mm以下の場合  
 (モクプラボードリアル・モダン 91幅 H1000)



# 納まり図

●当図は、すき間10mmの納まりを示す  
 ※( )内の寸法は、すき間20mmの納まりを示す

## ▼モクプラボード リアル・モダン 141mm幅



# 組立・施工



本商品には、温度差による樹脂特有の伸縮があります。材料の長さ、幅の確認をしてください。誤った施工を行うと、反りや曲がりなどの問題が起こる可能性があります。

## ⚠️ ご注意

- 施工前に材料の長さを確認してください。材料の性質上、1990mmより長くなっている場合があります。長くなっている場合には、柱のピッチと板同士のすき間10mmを考慮して、現場にてカットしてください。
- 平板を切断する場合には木工用、アルミ用チップ刃(砥石ではないタイプ)を用いて切断し、切断面のバリをカッターなどで落としてください。
- 平板を切断した場合は、切断面がジョイント部に向くように**平板**を配置してください。
- 配置によっては、エンド部がビス留めになる場合があります。
- 平板、ジョイント材にビスを打つ時は、**ビス**を打つ前に下穴を必ずあけ、トルクを弱く設定したドリルドライバーを使用してください。
- 施工時、**ビス**を強く締めすぎていないかどうかの確認として、**平板**のピッチの中心あたりを指で押し、パネルが動くかどうかチェックしてください。(下図参照)
- 施工時、数段おきに寸法の確認を行い、必要寸法に対して過不足がある場合は、調整してください。

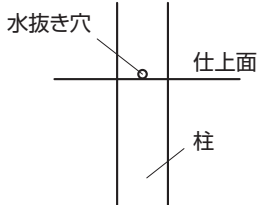
## 柱にボードを取り付けます

下図を参考に柱にボードを取り付けます。

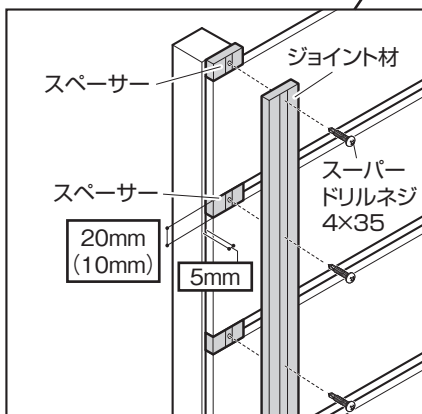
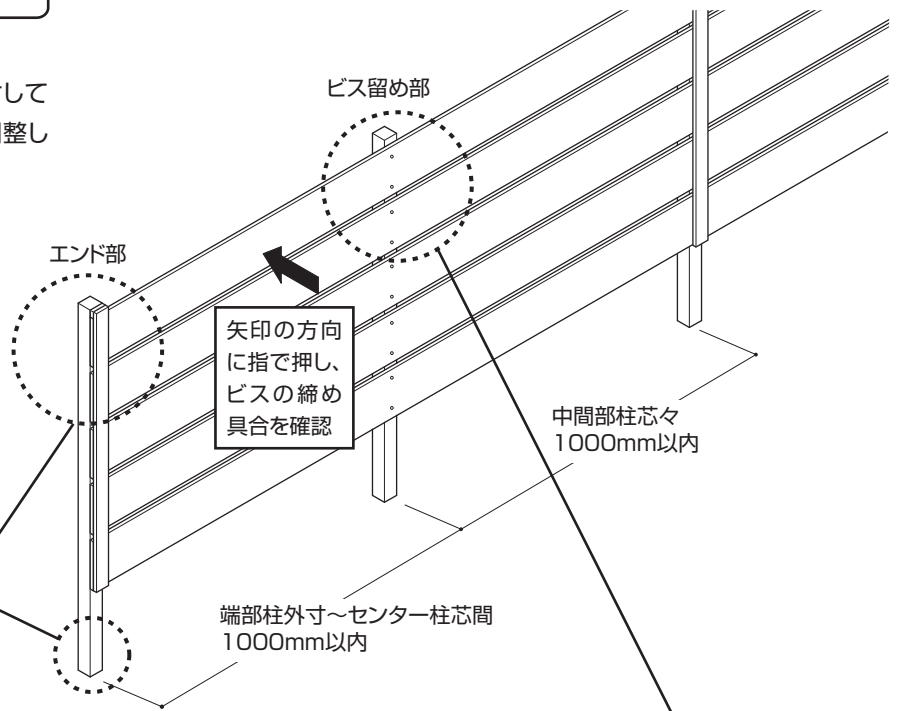
柱上部から順に平板を固定し、必要寸法に対して過不足がある場合は、G.L.とのすき間にて調整してください。

### 💡 ポイント

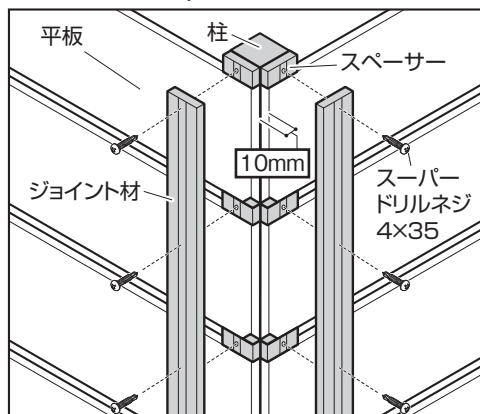
モクプラモダンについては表裏があります。触視にて彫り込みの深いほうが表になりますので、ご注意ください。



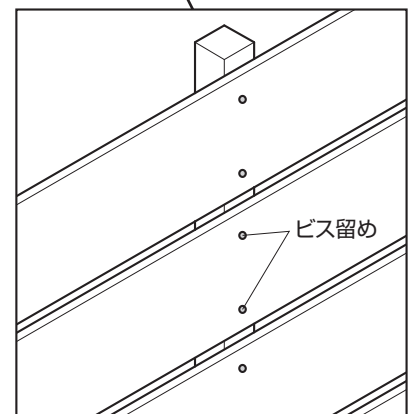
仕上面より上部に水抜き穴をあけてください。



スペーサー 1カ所につきビス1本固定してください。平板を柱の角から必ず5mmあけてください。下穴径：φ5.5mm(アルミ柱にはあけないでください)



コーナーの場合は、平板を柱の角から必ず10mmあけてください。



平板1枚につきビス2本で固定してください。下穴径：φ5.5mm(アルミ柱にはあけないでください)

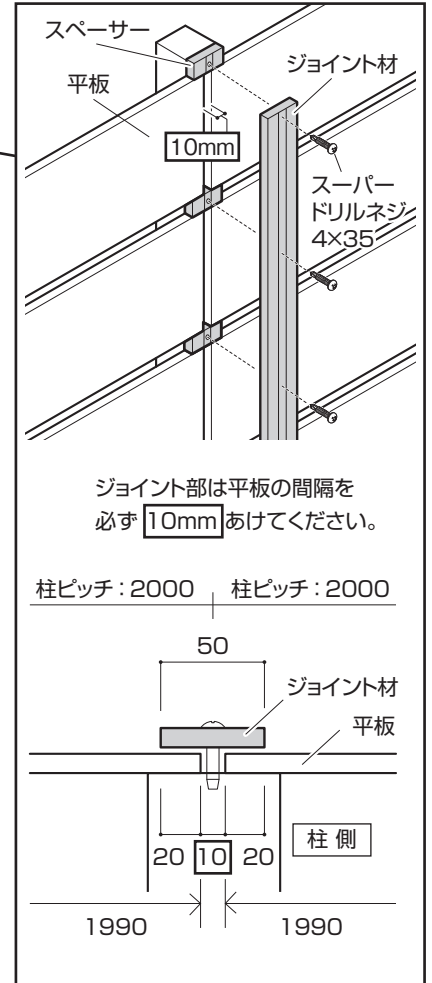
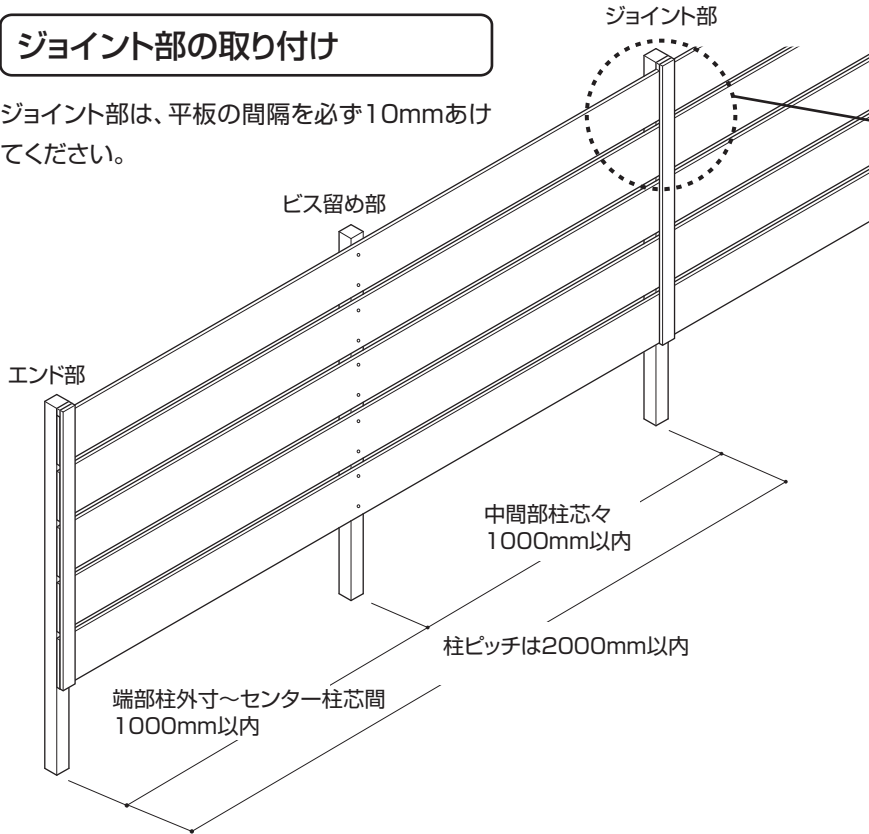
# 組立・施工



本商品には、温度差による樹脂特有の伸縮があります。材料の長さ、幅の確認をしてください。誤った施工を行うと、反りや曲がりなどの問題が起こる可能性があります。

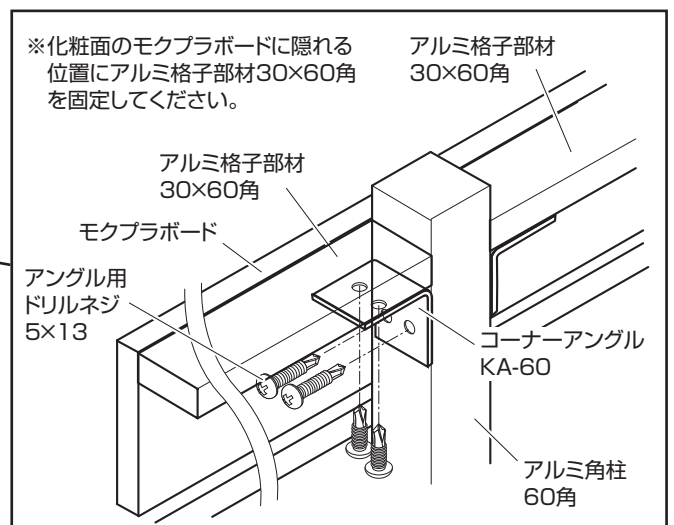
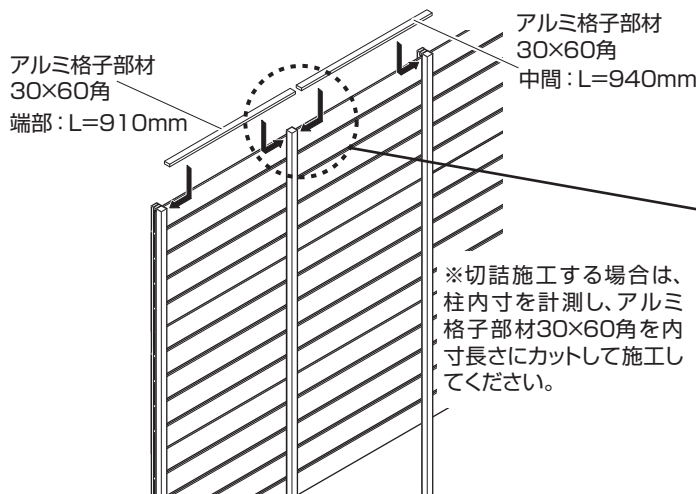
## ジョイント部の取り付け

ジョイント部は、平板の間隔を必ず10mmあけてください。



## 高尺タイプの補強について

H1800以上のフェンスを計画する場合は、アルミ格子部材30×60角を取付箇所の長さに合わせてカットし、コーナーアングル(KA-60)で柱に固定してください。



お客様サービスセンター

通話料無料 0120-51-4128

受付時間/月~金 AM9:00~PM5:00(祝日は除く)

株式会社タカショー

本社 / 〒642-0017 和歌山県海南市南赤坂20-1 TEL. 073-482-4128(代) FAX. 073-486-2560(代)



【お客様サービスセンターにおけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】株式会社タカショーおよびタカショーグループ関連会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために、発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、お客様サービスセンターまでご連絡ください。